

- 校内模試スケジュール
- 中間考査に向けて
- 夏期講習申し込み 3年

「はじめまして」

副校長 内海 秀一

まずは簡単な自己紹介です。教科は、国語を担当していました。また、高校・大学とずっと柔道部に所属していたので、教員になっていからも柔道部の指導に携わっていました。

柔道は、現在も継続しています。そこで今回は、某大河ドラマに登場する、「日本体育の父」でもあり、講道館柔道創始者である嘉納治五郎師範の言葉を引用して、「新宿通信」の巻頭言とさせていただきます。

柔道は、現在ではオリンピック競技となり来年の東京2020においてもメダルが期待されているわけですが、我々柔道人には「柔道修行の目的」として、以下のように説かれています。

「柔道は心身の力を最も有効に使用する道である

その修行は 攻撃防禦の練習に由って身體精神を鍛練修養し 斯道の真髓を體得する事である

さうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である」

簡単に言えば、「世のため人のためになれ」ということでしょうか…

「精力善用 自他共栄」という言葉もよく柔道人が説かれてきた言葉です。これは、

「善を目的として、精力を最も有効に働かせることである。それでは、善は何か、と言うに、団体生活の存続発展を助くるものは善で、これを防ぐるものは悪である。（略）そしてこの団体生活または社会生活の存続発展は、相助相讓（そうじょそうじょう）〔互いに助け、互に讓る〕・自他共栄によって達成せられるのであるから、相助相讓・自他共栄もまた善である。（嘉納治五郎、精力の最善活用、大勢第1巻第1号、1922）」

本校では、東京府立第六中学校として創立されて以来、「全員指導者たれ」という理念を掲げ、社会に有為な人材の育成を目指し、生徒に将来、社会において有益なリーダーたりうる資質を修得させるため、他からの指示を待つことなく自主的かつ自律的に行動する精神及び人間として自他を尊重する精神を育成してきました。ぜひ、皆さん一人一人の希望にかなった進路実現を目指し、将来様々な世界における「指導者」を目指していただけたらと願っています。そして、私もそのような期待を背負う皆さんを支援できるように、努力しようと思う毎日です。



○31年度 校内模試スケジュール

新宿高校ではいくつかの外部模擬試験を、実力テストなどとして、校内で実施し全員に受けてもらいます。駿台や河合の模試は校外会場でも実施されますが、同じ模試の場合は外会場では受けないで校内で受験してください。学年ごとの予定は以下の通りです。

1年生

・スタディーサポート1年用(ベネッセ)	5/8 水
・進研模試7月(ベネッセ)	7/8 月
・GTEC	9/20 金
・進研模試11月(ベネッセ)	11/6 水
・全統高1記述模試(河合塾)	2/5 水
・河合塾学びみらいPASS	3/11,12

2年生

・進研模試7月(ベネッセ)	7/8 月
・GTEC	9/20 金
・進研模試11月(ベネッセ)	11/6 水
・全統高2記述模試(河合塾)	2/5 水
・河合塾学びみらいPASS	3/11,12

3年生

・第1回全統記述模試(河合塾)	5/31 金
・駿台全国マーク模試	7/8.9 月火
・第2回駿台ベネッセ記述模試	10/6 日
・第3回全統記述模試(河合塾)	10/15 火
・第3回駿台ベネッセマーク模試	11/6 水
・全統センター試験プレテスト(河合塾)	

11/24日※外部会場受験

※3年生はこの他に、各自が必要に応じて模試を受験します。主な試験は学年から連絡済みです。

11月24日(日)の河合センタープレは外会場での受験になりますが、申込み手続きは学校が一括して行います。

3年生の模試ではマークと記述を組み合わせてドッキング判定が行われます。

まず、10月6日(日)の第2回駿台ベネッセ記述模試と11月6日(水)の第3回駿台ベネッセマーク模試とでドッキング判定が出来ます。また、これとは別に、10月15日(火)の河合塾の第3回全統記述模試と11

月24日(日)の河合塾センタープレテストでもドッキング判定が出ます。

駿台ベネッセと河合塾それぞれでドッキング判定が出るわけですが、これらはさらにセンター試験本番の結果とのドッキング判定も可能です。こうした判定結果を参考にして最終的な出願校を決めていきます。

○前期中間考査迫る 5/24・27~30

学力の伸び方は教科、科目によってさまざまです。英語や国語は積み重ねの教科ですから、地道な努力を続けるほかはありません。だからこそ、1年生の時から授業を大事にし、定期考査ごとに自分の弱点を分析し、克服していくことが大切です。これに対し、地歴・公民や理科の科目は、1年の時だけ、あるいは2年の時だけしか授業がないという科目があります。そういう科目で受験を考えている人は、その時の授業がまさしく受験勉強そのものでもありません。1年生だから受験はまだ先の話、とはいきません。あとでもう一度ゆっくり勉強し直そうと思っても、実際にはそういう余裕はありません。学ぶべき事は次々出てきます。「定期考査は恰好の問題集」とも言われます。答案用紙が返却されたら少なくとも間違えた問題は書き直しましょう。

1年生にとっては最初の定期考査。いまからしっかり計画を立てて準備しましょう。最初の考査で波に乗ることがペースをつかむ上で重要です。多くの卒業生も「最低でも定期考査だけはしっかり取り組んだ。」と言っています。

○夏期講習申し込みについて(3年生)

3年生向けの夏期講習の予定一覧が発表になりました。講座内容をよく確認の上、期日までに申し込みを行ってください。

申し込みの際には以下の点に注意。

① 欲張ってとりすぎない

予習や復習が必要になりますから、一日に2講座程度がよいでしょう(やむを得ない場合でも3講座)。夏期講習をとおしては10講座ぐらいが限度だと思います。

② 学習の主体はあくまで自分にある
皆さんが自分で夏休みの学習計画をたて、その中に夏期講習を上手に利用するという考え方がいいでしょう。受身の学習ではなく主体的に学習計画を考えましょう。

③ きちんと出席する
皆さんの出席予定に合わせて先生方はプリントの準備をしています。一度出席すると決めたら最後まできちんと出席しましょう。

④ 生活リズムを崩さないためにも
目覚まし時計代わりに使うのもアリです。

⑤ 先生によく聞く
講座内容などが分かりにくい場合は担当の先生に直接聞いてから申し込みましょう。勝手な思い込みで申し込むと、後々お互いに辛くなります。

○進路室ルール

3階に「進路指導室」、「進路指導資料室」が並んであります。(さらにその廊下奥に「進路室」があり

ますが、ここは3年生の担任の先生が使う学年部屋です。)

「進路指導室」には進路部の先生方が常駐していません。聞きたいこと、相談したいことがあればいつでも来てください。

「進路指導資料室」は別名「赤本部屋」。大学の過去問や、さまざまな資料が閲覧できます。出入り自由。廊下の棚のものも含めて、赤本は赤本ルールに従って借りられます。それ以外の資料は進路指導室の先生に相談してみてください。3年生はもちろん、2年生、1年生もどんどん利用してください。

奨学金・教育ローンについて

1階経営企画室の掲示板、および3階進路指導室の掲示板に奨学金関係の連絡が掲示してあります。

今はちょうど「日本学生支援機構」による大学生向け奨学金の予約申し込みの時期です。3年生には全員にプリントも配布されています。よく読んで必要な人は手続きを行ってください。「国の教育ローン」のパンフレットも届いています。進路指導室前の廊下にありますので自由に持ち帰ってください。

先輩からの言葉

「夢を持たずにここまで来た」

理化学研究所 革新知能統合研究センターチームリーダー

35 回生 関根 聡

私は夢や大志を抱かずにここまで来ました。現在は理化学研究所のグループリーダーとして40人くらいのグループを率えています。同時にニューヨーク大学の研究准教授、2つの会社の社長、4つの会社の技術顧問、学会などの役員、そして地元の商店街の副会長もやっています。5年前までは楽天技術研究所ニューヨークの所長もやっていました。

高校時代は数学と物理が得意なだけの目立たない静かな青年でした。ただ、高校1年の時に数

学の先生に煽てられて、高校2年の数学の教科書を、授業が始まる前の2週間で独学で終えるなど、面白いことが目の前にあると熱中してしまうタイプでした。この経験は「勉強というものは一人できるものだ(一人でやったほうが効率よくできるものだ)」という擦り込みになりました。目の前に面白いことがあると熱中するのは今でも変わりません。英国や米国に住み、幾つもの企業や研究所にお世話になりました。4年前に実家にビルを立て(自分の会社の一つはビルのマネジメントの会社です)、その縁で商店街活動を積極的に行い、

これまでなかった地元の桜のライトアップを企画・実施するなどしています。

こういった経験から思うのは、「夢や大志を抱かない」というやり方もあるのではないかと、ということです。具体的に言うと、私の職業は多分「研究者」なのだと思いますが、「研究者になりたい」と積極的に思ったことはありませんし、「研究者である」と積極的に主張することもありません。目の前にある面白いことに飛びつき続けていたら、今の自分になっていて、その職業は一般に「研究者」と呼ばれている、というのが正直なところです。現在は研究所の採用面接などもしますが、「研究者になることが夢です」と言って研究所の門を叩く人よりも、「こんなことに興味があつてこんなことをしたい、それを実現する一番いい場所が研究所であるのでここで働きたい」という人の方が、成功する確率が高いということも実感しています。「結果」を目標にするのではなく「プロセス」を大事にするということです。「お金持ちになりたい」と頑張ってお金持ちになる人もいますが、周りを見ていると「世の中を良くしたい」と頑張った結果、お金持ちになっている人の方が圧倒的に多いような気がします。それは考えてみれば当たり前です。多くの方は、利己的な人よりも、世の中を良くしたいと考える人と付き合う方が楽しいので、そういう人の所に自然と人もお金も集まってくるのではないかと思います。



「目の前に面白いことがない」という人もいるでしょう。私にもそういう時代もありました。でも、ちょっと視線を上げて見てください。何か気になる小さなことを意識してみましょう。私は私のビルの前にある小さな公園を大切にしています。時間のある時にはゴミ拾いもしますし、花も植えています。こんなことをしていると同じような意識を持った人が集まってきます。人付き合いが得意ではない人もいると思いますが、同じような気持ちを持った人と一緒に何かしていくと、そこに場が生まれて面白いことが次々と起こっていくのです。もちろん、人と交わらずに面白いことを追求するのも悪くありません。そういうことにちょっとだけ勇気を持って取り組んでみてください。

「結果としての夢」を意識してしまうと、そこに到達できない自分にストレスを感じるようになるかもしれません。逆に「目の前にある面白いこと」に取り組み続けていくことは、面白いことをやるわけですから、ストレスが少ないはずです。実際に、汗をかき、結果的に世の中がほんの少しだけでも良い方向に進んだことを実感するのはとても楽しいものです。新宿高校の在校生、卒業生の皆さんの行動によって、私たちの暮らしているこの世の中が少しずつでも良くなっていくことを願っています。

